

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	石炭灰造粒物を用いた海域環境の改善手法に関する研究委託
契 約 概 要	<p>計画準備 1式</p> <p>石炭灰造粒物を用いた干潟等の構造断面の安定性検討 1式</p> <p>付着藻類の繁茂特性と生態系への影響特性のモニタリング及び、生物生息環境の検討 1式</p> <p>石炭灰造粒物設置による水質、底質への影響特性の検討 1式</p> <p>石炭灰造粒物と浚渫泥からなる地盤特性の評価 1式</p> <p>資料解析・整理 1式</p> <p>協議・報告 3回</p> <p>成果物 1式</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所長 井山 繁 国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所 広島市南区宇品海岸3丁目10番28号
契 約 年 月 日	令和3年8月2日
契 約 業 者 名	国立大学法人広島大学
契 約 業 者 の 住 所	広島県東広島市鏡山1丁目3番2号
契 約 金 額	4,990,000円(税込)
予 定 価 格	4,990,000円(税込)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、海岸事業の実施にあたり、浸水防護機能の確保に合わせて海域環境の改善を図るために、石炭灰造粒物を活用した干潟等の構造断面の安定性検討、海域環境の改善効果の検討及び、石炭灰造粒物と浚渫泥の相互作用による栄養塩供給能力を検討する。</p> <p>業務遂行に当たっては、石炭灰造粒物の波浪に対する安定性に関する高度な知見と石炭灰造粒物の環境改善効果及び、石炭灰造粒物を材料とした干潟等の構造断面やモニタリング並びに、石炭灰造粒物と浚渫泥の接触による土質の変化や生物に及ぼす効用に関する幅広いノウハウを有している必要がある。</p> <p>国立大学法人広島大学は、自然環境下での石炭灰造粒物の化学的・物理的特性や、長期的環境性能及び、海域環境改善効果の検証と評価を行った研究実績が豊富である。また、実海域における実証実験と大規模水槽実験による石炭灰造粒物の波浪に対する移動特性の実験実績を元にした石炭灰造粒物の波浪に対する安定性に関する知見と海域における覆砂材料等として適用した研究実績を有しており、本業務を遂行するに十分な能力を有している。</p> <p>本業務を遂行するに必要な能力を有する者は、国立大学法人広島大学以外にも存在する可能性があることから、令和3年6月25日から同年7月15日までの期間に本業務の受注希望者の公募を行った結果、参加意思確認書の提出が無く上記の要件を満たす者が同大学を除いて存在しないことが確認された。</p> <p>以上のことから、国立大学法人広島大学と会計法第29条の3第4項の規定による随意契約を締結するものである。</p>
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 ( 自 )	令和3年8月2日
履 行 期 間 ( 至 )	令和4年3月18日
備 考	